

■誌上発表4

1 研究主題 16色の平面構成 ～イメージする色を作る、塗る～

2 提案者 江東区立東陽中学校 教諭 鶴田 将志

3 テーマと題材の関わり（題材設定の理由）

昨年の夏にポスター制作を行ったが、自身がイメージする色を作ることや、はみ出さずむらなく着色することが困難な生徒が多く見られた。本題材における活動を通して配色や混色の仕方、色彩感覚、アクリル絵の具の使い方を学ぶことができると考え設定した。

4 学習の目標

- (1) 純色・明清色・暗清色・濁色の仕組みを理解し、それらの色を作る。
 - 混色ガイドを用いて、絵の具の混ぜる割合に気をつけて色を作る。
- (2) 枠の中に、はみ出さず、ムラなく塗る。
 - パレット上で絵の具をよく混ぜ、面相筆で輪郭をとり、平筆で中を塗るなど工夫する。
- (3) 言葉から色をイメージし、配色カードから16色を選び出す。
 - 春・夏・秋・冬・夕暮れ・太陽・空・湖・都会・田舎・友情などの言葉から一つを作品のテーマとして選ぶ。

5 評価の観点

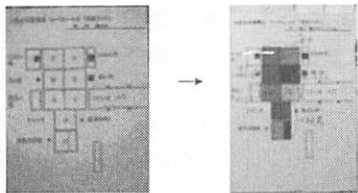
- (1) 関心・意欲・態度
 - ① 色の仕組みに関心を持ち、イメージする色を作り塗ることに意欲的に取り組む。
- (2) 発想や構想の能力
 - ① 言葉から色をイメージし、配色や構成を考えインパクトのある画面を作る。
- (3) 創造的な技能
 - ① 作品のテーマからイメージした色を作り、はみ出さずむらなく塗り味わい深い作品を作る。
- (4) 鑑賞の能力
 - ① 制作を通して色の面白さを感じ取り、自他の作品を鑑賞してよさや美しさを味わう。

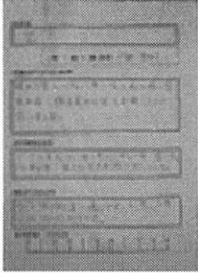
6 学習計画（全6時間）

(1) 用具・準備

- ① 材料 A4画用紙
- ② 道具 アクリル絵の具 筆洗器 配色カード 混色ガイド
- ③ その他 電子黒板 ワークシート①・②

(2) 展開

次	時	学習活動	指導上の留意点
一	2	・混色ガイドや配色カードを用いてワークシート①に色を塗る。 	・電子黒板を使って純色、明清色、暗清色、濁色などの用語とその仕組みについて理解させる。 ・パレット上でよく絵の具を混ぜるように指導する。
二	1	・春・夏・秋・冬・夕暮れ・太陽・空・湖・都会・田舎・友情などの言葉の中からテーマを選び、そのテーマに沿って配色計画を立てる。 ・配色カードの中から、自分のイメージに近い色を16色選び出す。	・それぞれの言葉を暖色・寒色で分けてみるというシミュレーションを行い、生徒が言葉から色をイメージしやすくなるようにする。

次	時	学習活動	指導上の留意点
三	2	・配色計画にそって丁寧に着色していく。	・パレット上で絵の具をよく混ぜ、面相筆で輪郭をとり、平筆で中を塗るよう指導する。
まとめ	1	<ul style="list-style-type: none"> ・はみ出したところなどを修正し、タイトルと名前を書いて完成。 ・自分の作品についての説明や、制作を終えての感想などをワークシート②に書く。  <ul style="list-style-type: none"> ・自他の作品を鑑賞し、よさや美しさを味わう。 	・ワークシート②にはテーマについての説明や、よくできたところや、難しかったところについて具体的に文章で書くよう指導する。

〈作品例〉

